

2月3日

### 重吉公生さんの寄付で 消防ポンプ車を購入



重吉公生さん(国東町小原)が寄付した3千万円を主な財源とし、国東市が消防ポンプ車を購入し、その運用開始式が消防本部で行われました。寄贈者の重吉公生さんは、「寄付した当初は、基金運用をしてもいい、地域振興に役立ててもらいたいと考えていたが、元気なうちに形となっているところを見たいと申し出たところ、早期に実現していただいで感謝しています」とあいさつしました。今回購入された車両には、最新鋭の圧縮空気泡消火システムが搭載されています。

2月11日



### くにさき生涯学習フェスタ

アストくにさきで、年齢に関わらず生涯にわたって学習している成果を発表する「第14回くにさき生涯学習フェスタ～絆深めて 楽しく参加～」が開催されました。ステージでは、生涯学習功労者等の表彰や、意見・体験発表、団体発表が行われました。エントランス周辺や3階ギャラリーでは、数多くの作品が展示されていました。

2月6日



### 武蔵東小学生がプロの足技を体験

武蔵東小学校の5年生・6年生の児童54名は、本校を訪れた大分トリニータの選手2名と交流しました。今回来校したのは、MF黄誠秀(ファンソンス)とFW伊佐耕平の両選手。ボールを使った準備運動をした後、10名編成になった小学生チームは、スタッフを交えた4人のトリニータチームと親睦試合を行い、プロの足技やスピードを体感していました。

2月20日



### 竹田津湾にアワビの稚貝を放流

国見町伊美にある有限会社双国建設が、竹田津湾の岩場のある沖にアワビの稚貝5,000個を放流しました。今回の放流会は、双国建設が地元の国見町への恩返しのため、交通安全指導や漁港の清掃などの社会貢献活動の一環として、海の環境保全のために実施したものです。2名の潜水士は、アワビの稚貝が育ちやすい場所を選びながら放流をしました。

2月21日

### 大分空港の足湯が3万人達成



大分空港の一階に昨年6月に設置された足湯の利用者が、3万人に到達したということで、記念式典が行われました。3万人目となった卒業旅行で新潟県から訪れていた谷 大樹さんは、大分航空ターミナルの富高松雄さんと一緒に、くす玉を割りました。この日から3日間、3万人を記念して1つの櫃にはサボンを入れたザボン風呂が登場し、入浴者が楽しんでいました。

### 観光客向けの催しも行われ 多くの人で賑わった岩戸寺修正鬼会

2月4日



国東町の岩戸寺で「修正鬼会」が開催されました。穏やかな天候に恵まれ、市内外から多くの参拝者が訪れ、仏の里の伝統行事を堪能しました。午後10時半に仏の化身とされる2匹の鬼が登場し、独特な掛け声で舞を見せ、松明で参拝者の肩や背中を叩いて、無病息災を祈りました。



深夜、鬼たちは介添役のタイレシとともに、2手に分かれて岩戸寺区内の家庭をまわりました。その後、岩戸寺公民館に今回初めて用意されていた観光客向けの酒席で合流しました。会場には、延べ100人の方が訪れ、鬼との交流を楽しんでいました。今回の酒席は、観光ガイドグループの「国東半島旅ナビゆめ友遊」の摩尼尊彦会長が、六郷満山開山1300年祭に向けて、多くの方に六郷満山文化を楽しんでもらうために企画しました。観光客のおもてなし用に用意されたシン鍋などの料理は、同ガイドグループの女性メンバーとAPUの学生6名が中心で準備しました。

2月12日



### 2人の門出を祝う「舟おろし」が2年連続で開催

国見町の下櫛来地区で、地域内の結婚や家の新築の祝い事を、船の進水式をまねてお祝いする「舟おろし」が行われました。今回は、今年の1月に結婚した佃 公則さんと朋子さんをお祝いするためのもので、前日の夜に佃家の庭に宝船を作りました。舟おろしの行事には、地域の方など約50名の方が集まり、地域を挙げて2人の門出を祝いました。



2月9日



### 国東市で県地域婦人団体連合会中央大会が開催

アストくにさきで、第56回大分県地域婦人団体連合会中央大会が開催されました。県内から約350人の会員が集まりました。同会の後藤ミツノ会長のあいさつの後、来賓の広瀬勝貞県知事が、「皆さまの地域を支える活動があるからこそ、大分県の掲げる「健康寿命日本一」や「子育て満足度日本一」を目指しており、感謝しています」と祝辞を述べました。式典の後は、福島大学特任准教授の天野和彦さんの唄を交えた講演がありました。午後からは、国東市地域婦人団体連合会の取り組みと七島蘭についての発表を、徳丸由美子会長と七島蘭工芸士の岩切千佳さんが行いました。来場した皆さんに婦人会の皆さんが作った七島蘭コースターをプレゼントし、喜ばれていました。

